

愛媛県で取り組む利用促進策（概要）

生活利用の促進

公共交通に係る住民への情報提供の充実や、利用に際しての利便性の向上により、通勤・通学など日常生活における利用の促進を図る。

- ◎ノーマイカー通勤デーの推進
- ◎公共交通機関のダイヤ等の広報活動
 - ・ホームページ等の充実によるダイヤや運行内容、乗りかえ情報等の提供
 - ・利用者の状況にきめ細かく対応した割引制度の拡充
 - ・まちづくりと連携した利用促進 など

観光利用の促進

観光や地域イベント等との連携や鉄道を活用したイベントの企画等により、県内外からの新たな利用の掘り起こしを図る。

- ◎観光イベント等と連携した企画きっぷの造成
- ◎企画列車の運行
 - ・サイクリングとの連携
 - ・事業者連携による企画きっぷ等の検討
 - ・愛媛県予土線利用促進対策協議会事業
 - ・着地型旅行商品企画・造成事業 など

交通機関の相互連携促進

交通機関相互の適切・効果的な組み合わせとなるダイヤ編成に努めるなど、交通機関の相互連携の促進による交通モード間のシームレス化を推進し、利便性の向上を図る。

- ◎鉄道やバス等が連携しやすいダイヤ等の調整
 - ・MaaSの造成の検討
 - ・鉄道、バス等が連携した企画きっぷ等の造成
 - ・他交通モードとのダイヤ調整 など

その他

地域の住民や域外からのビジネス・観光客が利用しやすくなるよう、駅及び周辺の整備を図る。

- ◎駅、電停等のバリアフリー化の推進
 - ・駅周辺施設（駐車場・駐輪場等）の整備
 - ・駅の案内表示の充実 など

◎は、都市部での利用を伸ばす効果が高いと考えられるもの

今後取り組む具体的な利用促進策(愛媛県)

【生活利用の促進】

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和2年度	1	ノーマイカー通勤デー	公共交通の利用促進を図るため、平成18年8月に「愛媛県公共交通利用推進宣言」を行い、利用促進施策として、ノーマイカー通勤デーを毎月1回設定	予讃線 予土線	自治体 JR四国 交通事業者	利用促進
	2	伊予市コミュニティバス運行・利用実態把握業務	令和2年4月に運行を開始した伊予市コミュニティバスの運行・利用実態を把握し、より効果的・効率的な運行に向けた資料をとりまとめるとともに、顕在・潜在的なリスクを把握する。	予讃線	伊予市	利用促進
	3	公共交通マップの作成	市内の全交通機関を網羅するとともに、目的地となる施設の位置も示した交通マップを作製し、各戸配布を行う。	予讃線 予土線	宇和島市	利用促進
	4	ポケット時刻表作成	引き続き小型時刻表四国版の裏面に松野町の観光PR写真を掲載を検討する。	予土線	松野町	利用促進
	5	公共交通機関のダイヤ等の広報活動	公共交通機関のダイヤなど情報発信を広く行うことにより利用促進を図る。 ○具体項目:バス事業者と連携した鉄道・バスの共通時刻表の作成、自治体広報誌・HPへの時刻表の掲載	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者 自治体	利用促進
5年以内	1	大口割引の導入	特急利用の拡大を図るため、一定規模以上の事業所を対象に大口割引の導入を検討する。	予讃線 予土線	JR四国	利用促進
	2	免許返納や通院等、高齢者への対応	免許返納後の交通手段としての鉄道利用や、東予・南予から松山市近郊の医療機関への通院等、高齢者のニーズへの対応	予讃線 予土線	JR四国 自治体	利用促進
	3	通勤利用を促す事業所、住民へのPR	自家用車利用からの転換を促すため、鉄道・バスの連携も含めた事業所、住民向けPRを実施。	予讃線 予土線	自治体 JR四国 交通事業者	利用促進
	4	家族割引の導入	自家用車利用に対抗し、ファミリー利用を増やすため、家族を1グループとする割引切符の導入を検討する。	予讃線 予土線	JR四国	利用促進
	5	通勤・通学利用の促進	通勤・通学時間対応したダイヤの改善等	予讃線	西条市 交通事業者	利便性の向上

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
5年以内	6	地域内交通における支線の見直し	地域内交通における支線を見直すとともに、交通空白地における新たな公共交通を導入し、交通結節点まで運行。	予讃線	大洲市 又は 自治会等	利便性の向上
	7	公共交通マップ等の作成	市内すべての交通モードが一元的に整理された分かりやすい地域公共交通マップ等を作成し、地域住民や観光客にご利用いただくことで、公共交通の利用促進を図る。	予讃線	八幡浜市	利用促進
	8	JR卯之町駅 駅前おでかけ案内事業	・卯之町「はちのじ」まちづくり整備事業で実施する駅前複合施設、駅舎、駅前広場、ロータリーの整備と合わせた公共交通利用者の利便性の向上や利用促進に向けた事業の展開	予讃線	西予市 駅前開発事業者	利便性の向上
	9	公共交通ホームページ 充実事業	・公共交通の利用方法(主要施設・地点への経路、料金、滞在可能時間)等の掲載	予讃線	西予市	利用促進
	10	都市圏輸送強化	将来の乗務員不足を踏まえ、限られた経営資源(車両、乗務員)を都市圏へ集中することにより、都市圏の輸送強化を行う。また、利用者にとって分かりやすい時刻とすること、及びバス等の二次交通との連携を図りやすくすることを目的として、パターンダイヤ導入の検討を図る。 ○具体項目:松山駅近郊での輸送強化(パターンダイヤ導入の検討など)	予讃線	JR四国	利便性の向上
5年超	1	松山駅周辺土地区画整理事業	愛媛県の鉄道高架事業と本市の土地区画整理事業を一体的に施行している。土地区画整理事業では、東口駅前広場の拡張や西口駅前広場の新設を行うとともに路面電車を駅前広場に引き込むことにより、広域交通拠点として利便性の向上を図る。	予讃線	松山市 及び関係事業者	利便性の向上
	2	潜在的公共交通利用者への利用促進事業	・小・中学生等への公共交通の啓発活動	予讃線	西予市	利用促進
	3	新駅の設置	まちづくりと連携し、都市圏近郊の人口集積地へ新駅を設置し利便性向上を図る。 ○具体項目: 松山・伊予市方面への通勤・通学の利便性向上 その他、地域の要望による都市圏近郊の人口集積地への新駅設置の検討	予讃線	自治体 JR四国	利便性の向上

今後取り組む具体的な利用促進策(愛媛県)

【観光利用の促進】

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和 2年度	1	YODOSENサポーターの周知	YODOSENサポーターをさらに周知し、予土線ファンを拡大させる。	予土線	自治体 JR四国	利用促進
	2	サイクリングターミナル建造事業	JR今治駅前にサイクリングターミナルを建造し、サイクリング客の誘致を図る。	予讃線	今治市	利便性の向上
	3	サイクルトレインの運行	しまなみサイクルトレイン利用促進協議会に負担金を支出し、サイクルトレインしまなみ号を運行。	予讃線	今治市 JR四国	利用促進
		サイクルトレインの運行	サイクリングイベント「ツール・ド・ひじかわ」に合わせてサイクルトレインを運行(モデル事業として実施)	予讃線	大洲市 サイクリング協会 JR四国	利用促進
	4	観光列車「伊予灘ものがたり」運行関連事業	観光列車「伊予灘ものがたり(双海編)」乗客への記念品提供、町内特産品の販売など	予讃線	伊予市 JR四国	利用促進
		観光列車「伊予灘ものがたり」運行関連事業	観光列車「伊予灘ものがたり(大洲編)」乗客への記念品・パンフレットおよび市内店舗クーポン付き散策マップの提供など	予讃線	大洲市 JR四国	利用促進
		観光列車「伊予灘ものがたり」運行関連事業	観光列車「伊予灘ものがたり(八幡浜編)」乗客への記念品の提供、市広報媒体を利用した「手振り運動」の推進等	予讃線	八幡浜市 JR四国	利用促進
	5	しおかぜウォークなのはな大会	地域振興と鉄道への理解を深め、予讃線(海周り)のPRと沿線の活性化を目的に、伊予長浜駅～伊予上灘駅間でウォーキング大会の実施。	予讃線	JR四国	利用促進
	6	旧内子線廃線ウォーク	廃線の歴史的資料としての価値、多目的な資源としての活用(毎年1回11月に開催)	予讃線	内子自治センターほか	利用促進
	7	JR近永駅周辺賑わい創出プロジェクト	産官学の構成員からなるプロジェクトチームで近永駅の町有化を視野に入れた駅舎の改修等、近永駅周辺地域の活性化について検討を行い、実施可能なものから順次事業着手。	予土線	鬼北町 JR四国	利用促進

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和 2年度	8	ALL SHIKOKU Rail Passの発売	JR四国及び関係交通事業者(土佐くろしお鉄道,阿佐海岸鉄道,高松琴平電気鉄道,伊予鉄道,とさでん交通,小豆島フェリー,小豆島オーブパス)の連携により、外国人向けフリー切符の発売	予讃線 予土線	JR四国 伊予鉄道 (株) 他	利用促進
	9	四国西南レール&バスきっぷの発売	四国西南エリアにおける鉄道(JR)と沿線バス路線を組み合わせた企画きっぷの発売	予讃線 予土線	JR四国 伊予鉄バス (株) 他	利用促進
	10	広島呉ちかみちきっぷの発売	愛媛県南予地域～松山駅～松山観光港～呉・広島への鉄道・バス・船を組み合わせた企画きっぷの発売	予讃線	JR四国 伊予鉄バス (株) 他	利用促進
	11	「松山お買い物きっぷ withまちペイ」の発売	特急列車利用促進及び松山市街の活性化を目的とした、松山市街での買い物に利用できる「まちペイ」と松山駅までの往復の特急列車自由席利用のきっぷを組み合わせた企画きっぷの発売	予讃線	JR四国	利用促進
	12	四万十・宇和海フリーきっぷの発売	四万十川・宇和海周辺のフリー区間内のJR線、宇和島自動車(バス)線、土佐くろしお鉄道線が乗り降り自由のフリータイプと、松山駅からフリー区間を経由して高知駅まで片道乗車する片道タイプの企画きっぷの発売	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利用促進
	13	内子・大洲町並散策1日パス	歴史的な町並みで情緒あふれる愛媛県内子町と大洲市、夕日が美しい愛ある伊予灘線沿線の散策に便利なフリーきっぷの発売	予讃線	JR四国	利用促進
	14	外国人観光旅客利便増進	・外国語等による情報の提供 ・無料Wi-Fiの設置(駅、車両) ・洋式トイレの整備(駅、車両) ・車両への荷物置き場設置 ・車掌用タブレット端末の導入(案内用) など	予讃線	JR四国	利便性の向上
	15	沿線でのイベント・行事を活用した利用促進	イベント等の情報共有や鉄道利用の働きかけなど ○具体項目:坊っちゃんスタジアムでのプロ野球や愛媛県武道館でのコンサート等の大規模イベント、愛媛県予土線利用促進対策協議会との連携	予讃線 予土線	自治体 JR四国	利用促進
	16	遠足等への運賃助成事業	沿線市町の幼稚園、保育園、認定こども園、小学校及び中学校において行われる予土線を利用した遠足等行事に対して、鉄道運賃の半額助成。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進
	17	企画列車の運行	ビールトロッコ列車、アンパンマントロッコ、予土線3兄弟三重連などの企画列車を運行。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会 JR四国	利用促進
18	よどせん感謝祭の実施	沿線において各種企画イベントを実施。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進	
19	予土線サポーター事業	ファン拡大を図るためYODOSENサポーターを募集。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進	

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和 2年度	20	予土線川柳コンテスト	ファン拡大を図るため川柳コンテストを実施。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進
	21	予土線絵画コンテスト	ファン拡大を図るため絵画コンテストを実施。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進
	22	各種PR事業の実施	観光利用等の促進のため、各種施策を実施。	予土線	愛媛県予土線利用促進対策協議会	利用促進
5年 以内	1	観光商品の造成	観光イベントや他の交通モードと連携した商品造成等を行う。	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利用促進
	2	サイクリングとの連携	サイクルトレインや混乗試験の拡充やサイクリングイベントとの連携に取り組む。	予讃線 予土線	自治体 JR四国	利用促進
	3	南伊予駅関連事業	新駅が車両基地に併設されることから、車両基地を目玉とした観光誘客等を検討する。	予讃線	伊予市	利用促進
	4	外来者への分かりやすい情報提供	JR伊予西条駅での表示の多言語化	予讃線	自治体 交通事業者	利用促進
	5	鬼デザイン観光列車の運行	内装・外装に鬼デザインを施した観光列車を運行し、鉄道自体の観光資源化を図る。	予讃線 予土線	鬼北町 JR四国	利用促進
	6	四国DC(destinations キャンペーン)との連携	2021年秋に開催予定の観光イベントとの連携	予讃線 予土線	観光団体 JR四国 自治体 交通事業者	利用促進
5年超	1	着地型旅行商品企画・造成事業	JR新居浜駅発着等の着地型旅行商品について、これまでのプランとは違った新しいツアーの開発を行い、モニターツアー等の評価を実施する。	予讃線	新居浜市 JR四国	利用促進

今後取り組む具体的な利用促進策(愛媛県)

【交通機関の相互連携促進】

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和2年度	1	松山日帰り路面電車割引きっぷの発売	JR松山駅までの鉄道(JR)と伊予鉄道市内電車を組み合わせた企画きっぷの発売	予讃線	JR四国 伊予鉄道(株)	利便性の向上
	2	JR四国との連携きっぷ(四国フリーきっぷ等)の発売	鉄道(JR)と沿線バス路線(久万高原線)を組み合わせた企画きっぷの発売	予讃線	JR四国 ジェイアール四国バス(株)他	利便性の向上
	3	豊予海峡横断きっぷの発売	松山駅または宇和島駅と八幡浜駅間の鉄道と八幡浜港と別府港の間のフェリーがセットになった企画きっぷの発売	予讃線	JR四国 交通事業者	利便性の向上
5年以内	1	JRとバスの連携(代替性の確保)	災害時等にJRもしくはバスが不通となった場合に備え、事前にJRとバス事業者が協定を結び、定期券所有者の振り替え輸送を実施する。	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利便性の向上
	2	JRとバスとの連携(結節機能の強化)	交通機関(JR・路線バス・コミバス等)のダイヤを調整し、極力待ち時間が少なく移動できるようにする。	予讃線 予土線	自治体 JR四国 交通事業者	利便性の向上
	3	JRとバスとの連携(セット定期券の発売)	例えば、予土線沿線(特に松野町)では、列車の本数が少なく、バス(虹の森公園線)と補完関係にあるので、JR予土線とバス(虹の森公園線)がどちらも利用可能な定期券を発売する。	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利便性の向上
	4	相互連携切符の造成	JRと他の交通機関(バス等)が連携した企画切符を造成する。 (例)松山空港きっぷ:JR特急自由席乗車券+空港リムジンバス	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利便性の向上
	5	他交通モードとのダイヤの調整	乗合タクシー、公共交通空白地有償運送、路線バス、フェリー等とのダイヤを調整することで、乗り継ぎをスムーズに行えるようにする。	予讃線	八幡浜市	利便性の向上
	6	都市機能誘導区域間の移動利便性の向上	交通結節点となるJR駅での予讃線と支線との接続の改善	予讃線	自治体 交通事業者	利便性の向上
	7	市内外ネットワーク構築事業	・JR卯之町駅・八幡浜駅での宇和島バスの結節調整 ・集落から市内外の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの形成	予讃線	西予市 交通事業者	利便性の向上
	8	MaaSの造成	スマホアプリ等を活用し、時刻・経路の検索、予約、決済までを一括で行うサービスの開発(上記はあくまで例であり、MaaSの概念は定まっておらず、具体的なサービスについては現在さまざまな業界で検討中)	予讃線 予土線	伊予鉄バス(株)他	利便性の向上

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
5年以内	9	バス等フィーダー交通との連携	バス事業者等とのダイヤ連携(ダイヤ改正時刻の事前周知など) バス事業者等との乗継時運賃割引、運賃・乗車券の共通化の検討	予讃線 予土線	JR四国 自治体 交通事業者	利便性の向上
5年超	1	JR線と伊予鉄道路線との結節点の利便性向上	東予・南予のほか県外を結ぶ広域的な交通機関であるJR線と中予地域での基幹的交通機関である伊予鉄道との乗継利便性の向上	予讃線 予土線	JR四国 交通事業者	利便性の向上
	2	片道定期券の発売	ニーズに柔軟に対応するため、片道みの定期券の発売を検討する	予土線	JR四国 宇和島自動車(株) 他	利便性の向上

今後取り組む具体的な利用促進策(愛媛県)

【その他】

実施時期	番号	事業名	取組みの概要	線区	実施主体	性質分類
令和 2年度	1	JR内子駅周辺環境整備	廿日市自治会によるJR内子駅前の清掃活動及びJR内子駅周辺の花いっぱい運動	予讃線	内子町 廿日市 自治会	利用促進
	2	JR宇和島駅 駅前周辺整備事業	「パフィオうわじま」の整備にあわせ、駅前空間を整備する。	予讃線 予土線	宇和島市	利便性の 向上
5年 以内	1	駅前周辺環境整備	地域の関係者が連携した駅前周辺の環境整備(駐輪場の設置等)を図る。	予讃線 予土線	自治体	利便性の 向上
	2	駅周辺の駐車場整備	地元の関係者が連携した駅周辺の駐車場整備により、パーク&ライドを推進する。	予讃線 予土線	自治体	利便性の 向上
	3	主要駅エレベーター等 設置事業	伊予三島駅および川之江駅においてエレベーター設置等の提案を行っており、実現を目指している。	予讃線	四国中央市	利便性の 向上
	4	JR八幡浜駅 案内表示の充実	時刻表や、観光施設への乗り継ぎ等の、案内表示をより分かりやすくする。	予讃線	八幡浜市 JR四国	利便性の 向上
	5	伊予鉄道松前駅前環境 整備事業	伊予鉄道松前駅前の駐車スペース、駐輪場等の周辺整備を行う。	予讃線	松前町	利便性の 向上
	6	JR今治駅 駅周辺の利便性向上	今治駅前への宿泊特化型ホテル「JRクレメントイン今治」の建設(2021年秋予定)	予讃線	JR四国	利便性の 向上
5年超	1	駅・電停バリアフリー化	駅や電停の乗り継ぎ空間のバリア解消 ※JR松山駅前電停のバリアフリー化は、駅の連続立体交差事業と併せて実施予定	予讃線	自治体 伊予鉄道 (株)	利便性の 向上